



教育目標

# NANBU



学校だより第3号

氷見市立南部中学校

「自学、信愛、努力を基本とし、人間らしい生き方を求める生徒を育てる」

令和6年7月11日

自分にとって大切なものの範囲を広く！

毎年、祇園祭が近付くと思ひ出すことがあります。

今から十数年前、祇園祭の翌朝、たまたまその日は氷見市街地を通過して職場に向かっていました。そのとき目にしたのは、大きなごみ袋を手にしてごみを拾っている人たちです。その中には、南中生の姿も見えました。毎年、祇園祭には大勢の人たちで賑わい、当然のごとく、ごみがたくさん出ます。でも、祭が終わると、いつの間にか街中はきれいになっています。

私はそれまで、「誰かが、街をきれいにしている！」という当たり前のことを考えたことがなかったもので、そんな自分を恥ずかしく感じました。

今の時期、あちらこちらの道路脇には雑草が生い茂り、空き缶やペットボトルが見え隠れしています。このような光景を目にしている人はたくさんいることでしょう。人というのは、ごみが落ちている場所ではポイ捨てすることへの抵抗感が薄れるようです。

7月7日の氷見市一斉清掃では、南中生も各地区の清掃活動に参加しました。生徒たちの感想には、「ごみがたくさん捨てられているのに驚いた」「思った以上にゴミが多くて、集めるのが大変だった」「せっかくきれいにしたのだから、ゴミのポイ捨てはしないでほしい」などがありました。

私たちは誰でも、自分に関わりが深く、大切に思っているものに対しては、きれいな状態を保ちたいと思っています。例えば、自分の身体に汚れたものが付いたらすぐにきれいにしようとし、自分の服にゴミが付いたらすぐに払い落とそうとします。なるべく身体や衣服が汚れないように心がけてもいます。

私たちは毎日何気なく過ごしていますが、社会の一員であるということを自覚し、「自分に関わりが深く、大切に思っているもの」の範囲を、もっと外へと広げていきたいものです。

もうすぐ夏休みに入ります。学校を離れて毎日を過ごすことで、自分が住んでいる地域や氷見市について見つめ直す時間をつくれると思います。

自分たちの大切なものは何か、それを守るために何をしたらよいかを見付け、広げてくれることを期待しています。

◆先生たちも研修を頑張っています！ ～学ぶこと・学び合うことの楽しさを実感できる授業づくり～

## 学校訪問研修会

6月3日(月)、富山県西部教育事務所と氷見市教育委員会の先生方をお迎えし、10コマの授業を公開し、授業づくりの研修を行いました。



## ICTを活用した授業づくり研修会

6月20日(木)、富山大学大学院教授長谷川先生を指導助言者にお迎えし、市内小中学校16名の教員も参加しての研修会がありました。鹿渡陸斗教諭が1年美術科の授業を公開しました。

